

科目ナンバー	COS-3-030-jk			科目名	情報通信と教育「eラーニング」の基礎と実際		
教員名	竹内 愛			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	現在、情報通信技術を利用した教育、いわゆるeラーニングが多くの教育機関や企業、生涯学習の場で導入されつつあります。eラーニング について知ることは、情報通信の可能性に対する視野を広げるとともに、学習者として様々な場面における学習の機会を拡げることにも通じます。同時に、教員はもとより、企業等においても指導的な立場になった場合には、大変有用な知見であるといえます。特に情報科の教員は、教材作成はもとよりeラーニングの構築と導入を主導することも求められてくるでしょう。本授業では、eラーニングに関する 一般的な知識、具体的事例、技術的知識、教材作成手法等を学ぶことを通して、eラーニングを利用した授業の受講生としてのみならず教員や教材作成者の立場を経験するとともに、これからの情報通信技術を活用した学習環境について考えます。						
到達目標	eラーニングに関する一般的な知識の習得、eラーニング実施のための技術的な基礎知識の習得、簡単な教材作成手法等の習得ならびに著作権法等に関する基礎知識の習得を目標とします。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識		自己を理解する力		伝え合う力		分析し、思考する力	
共生のための態度	○	自己を抑制する力	○	協働する力		構想し、実行する力	
グローバル・マインド		主体性	○	関係を構築する力	○	実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	前半は講義を中心とし、後半はウェブ教材作成を個人ベースで行っていく。						
アクティブラーニング	○	サービ斯拉ーニング			課題解決型学修		
受講条件 前提科目	情報倫理の単位取得済みであることが望ましい。						
アセスメントポリシー及び評価方法	平常点(30%)eラーニング受講体験レポート(10%)教材企画書(10%)演習参加と制作物(30%)期末試験(20%)						
教材	授業内で必要に応じて配布する。						
参考図書	鈴木克明『教材設計マニュアルー独学を支援するために』(北大路書房)鄭 仁星、鈴木 克明、久保田 賢一『最適モデルによるインストラクショナルデザイン』(電機大出版局)岡本 敏雄、香山 瑞恵、小松 秀圀『eラーニングの理論と実際ーシステム技術から、教え・学び、ビジネスとの統合まで (情報教育シリーズ)』日本イーラーニングコンソシアム編『eラーニング白書(2008/2009年版)』日本イーラーニングコンソシアム編『eラーニング導入ガイド』日本イーラーニングコンソシアム編『eラーニング活用ガイド』						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	シラバス授業:授業の概要						
授業外学修内容	—					時間数	—
2週目							
授業学修内容	eラーニングとは?						
授業外学修内容	課題:eラーニング学習体験レポート作成					時間数	3
3週目							
授業学修内容	日本及び海外でのeラーニング実践事例						
授業外学修内容	予習:資料指定範囲を読む					時間数	1
4週目							
授業学修内容	インストラクショナルデザインとは(1)?						
授業外学修内容	予習:資料指定範囲を読む					時間数	1
5週目							
授業学修内容	インストラクショナルデザインとは(2)?						

授業外学修内容	予習:資料指定範囲を読む	時間数	1
6週目			
授業学修内容	マクロデザイン・マイクロデザイン		
授業外学修内容	予習:資料指定範囲を読む課題:教材企画書作成	時間数	3
7週目			
授業学修内容	LMS(Learning Management System)とは?		
授業外学修内容	予習:資料指定範囲を読む	時間数	1
8週目			
授業学修内容	ブレンド型eラーニングへのアプローチ		
授業外学修内容	—	時間数	—
9週目			
授業学修内容	eラーニングのセキュリティと著作権		
授業外学修内容	—	時間数	—
10週目			
授業学修内容	eラーニング導入演習(模擬eラーニング構築)(1)		
授業外学修内容	—	時間数	2
11週目			
授業学修内容	eラーニング導入演習(模擬eラーニング構築)(2)		
授業外学修内容	—	時間数	2
12週目			
授業学修内容	eラーニング導入演習(模擬eラーニング構築)(3)		
授業外学修内容	課題:試作品の完成	時間数	4
13週目			
授業学修内容	試作品提出上記試作品eラーニングの相互受講		
授業外学修内容	—	時間数	—
14週目			
授業学修内容	形成的評価の実施とコンテンツ改善		
授業外学修内容	予習:資料指定範囲を読む課題:評価者から得たコメントをもとに完成品を作成する	時間数	2
15週目			
授業学修内容	完成品の提出まとめ		
授業外学修内容	期末試験準備	時間数	
上記の授業外学修時間の合計		20	
その他に必要な自習時間		70	

Number	COS-3-030-jk	Subject	Informations, Communications and Education		
Name	竹内 愛(Takeuchi Ai)	Year and semester	S Second semester for 2020	Credits	2
With a rapid development of new technologies, eLearning has become a mainstream practice in					

Course outline	O	both education and industry, offering a great deal of promise especially to adult learners. However, it must be implemented appropriately in order to be an effective tool. This course explores the theory and practice of eLearning by addressing the factors to be considered in the design and delivery of eLearning. It begins with an overview of eLearning including its history and issues related to using eLearning. In the l atter half of the semester, students will design and develop their own online learning modules on Moodle.
-------------------	---	--